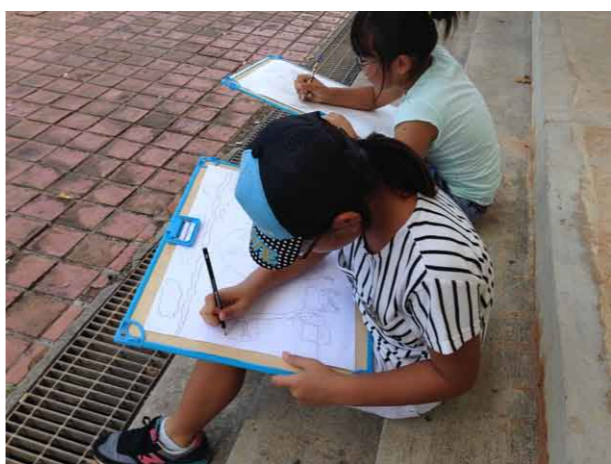


図画・絵画教室開催

本部町立博物館は8月12、13日に図画絵画教室を実施しました。26名の小中学生が参加しました。講師に琉球大学教育学部付属中学校美術科教諭の酒井織恵氏をお招きしました。絵画教室では、技術指導もさることながら、絵を描くことを楽しんでもらう事に重点を置きました。博物館では絵画教室を5年計画で考えています。時間をかけて子供たちの絵の



楽しむ心や、豊かな想像力を育みたいと思っています。初回という事もあり、逆に私たちが子供たちから教わったことも沢山あります。もししたら絵を描く動機を引き出せるのか、

困っている瞬間に
いかに気付ける
か、どの距離感で
関わっていくのか
など、絵画に答え
がないように指導
にも答えはないの
でしょう。子供た
ちそれぞれの個性
に向かい合っていければと思います。



アンモナイトレプリカ作り

8月11日に夏休み企画の『化石観察とアンモナイトレプリカ作り』が行われました。

さて突然ですが問題です。4億年程昔に生息していたアンモナイトですが、今の生き物のなかでどんな生き物に近いでしょうか？
答えは記事の後半で出てきます。



アンモナイトの化石を粘土で型を取り石膏を流し込んで化石のレプリカを作ります。仕上げには子供たちがそれぞれ着彩をしました。大石原には実際に化石の観察にも行きました。最初はなかなか見つけれなかったのですが、探し方のコツを聞くとあちこちで「みつけたー」の声。多い子で20個くらい見つけていました。講師がアンモナイトは今の生き物で何に近いと思いきや、すかと問いかけると、子供たちは、

見た目の形や生息地から、貝やカタツムリなどの声が多かったです。実は正解はタコやイカの近い生き物なのです。正解を聞くと子供たちは驚いていました。その他化石の成り立ちなど化石にまつわる事をワークシートで勉強しました。



図書館ワークショップ

透明のビニール傘に好きなイラストを書き写したり、カラフルなテープを貼ったりしてオリジナルの傘をつくるワークショップが、7月26日に本部町立図書館主催で行なわれました。傘が透明なのを利用して絵本やイラストを書き写したり、傘のフチや柄の部分にマスキングテープなどを貼って作れるオリジナル傘は、子ども達はもちろん、父兄の方々にも大人気でした。



正解はタコやイカの仲間でした。そのほかには、オウムガイも同じ仲間だと言われています。